

科目名	事業承継論特講	担当者	ゴトウ 後藤 トシオ 俊夫	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本論では、事業承継をファミリービジネス理論に沿って理解し、実践的な課題解決に資することを目的とする。</p> <p>事業承継とは会社の所有ならびに経営を後継者に引き継ぐことをいう。経営者にとって最も重要かつ最後の一大事業であり、多数の利害関係者の調整など、複雑かつ長期にわたるプロセスであるにもかかわらず、関心と理解は極めて乏しいのが現状である。わが国企業の大多数を占めるファミリービジネスにおいて、事業承継は極めて深刻な問題となっている。</p> <p>本論では、全ての企業が早晚直面する事業承継について、体系的な理解を深め、長期的計画、関係者間のコミュニケーション、各種のファミリー・ガバナンスなど必要な施策の適切な立案・導入・遂行をできる能力構築をめざす。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファミリービジネスにおける事業承継の位置づけと重要性を理解する 2. 事業承継を長期にわたる利害関係者相互の調整プロセスとして理解する 3. 事業承継を円滑に実現する仕組みとして、ファミリー・ガバナンスを理解する 4. 以上について、理論的理解を基礎として、現実課題に対応できる実践力を培う 		
学修方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. テキスト及び参考図書の体系的理解 2. 具体的なケーススタディ 3. 上記にあたり、普遍的理論の個別事例適用（演繹）および個別事例から普遍的理論の導出（帰納）能力を意識的に構築する 		
スケジュール	<p>レポート作成は、修士論文を執筆する準備過程を構成するものであり、修士論文を作成する際に必要となる基礎的事項を習得する上で不可欠なプロセスである。したがって、下記3回の提出締切を設け、その完成度を高める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 骨子：最終提出の2か月前 2. レポート草稿：同1か月前 3. 最終提出 		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	教材内容の理解，レポートの構成，文章表現
	平常評価	20%	骨子：提出期限厳守ならびに内容 草稿：提出期限厳守，内容ならびに表現力
履修者への要望	<p>経営関連科目との同時履修が望ましい。</p> <p>特に、『ファミリービジネス論特講』は本科履修の前提となるので、十分な理解が肝要である。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 後藤俊夫監修 教材名： 『ファミリービジネス 知られざる実力と可能性』（白桃書房，2012年） ISBN:978-4-56-123583-5 2,800円+税 【紀伊國屋ウェブストアは在庫僅少】
	テキストはファミリービジネスに関する主な研究成果を体系的に概説しており，その優位性・特徴，成長と発展，経営戦略，事業承継，ガバナンス，社会的責任などを相互関連に着目して理解するのに適している。事業承継事態の理解に加えて，多面的理解に有効である。 ＊前期はファミリービジネス論に基づいて，事業承継ならびにファミリー・ガバナンスの理論的理解を深めることに重点を置く。
参考図書	『ファミリービジネス白書 2015』『中小企業白書』
履修上のポイント	1 ファミリービジネスにおける事業承継の位置づけと特徴を理解する 2 事業承継をプロセスとして理解する 3 それぞれの利害関係者の視点から事業承継を理解する 4 承継計画の重要性と骨子を理解する
レポート課題 1	◎事業承継の重要性ならびに問題点を述べよ。 留意点 ：レポートの構成及び評価点配分（下記）に留意すること。 用いる理論名と理論の概要（25点），わが国の現状（25点），分析（40点），提言（10点）
レポート課題 2	◎事業承継をプロセスとして把握し，利害関係者間の関係性について述べよ。 留意点 ：レポートの構成及び評価点配分（下記）に留意すること。 用いる理論名と理論の概要（25点），わが国の現状（25点），分析（40点），提言（10点）

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 武井 一喜 教材名： 『同族経営はなぜ3代で潰れるのか？』（クロスメディア・パブリッシング，2014年） ISBN:978-4-84-437364-3 2,280円+税 【紀伊國屋ウェブストアは在庫僅少】
	テキストは，自らの実務経験ならびに現在のコンサルタントとしての知識を融合して，ファミリービジネスの課題と対応策を実践的に示しており，前期テキストとの併読で理解が深まるであろう。 ＊後期は事業承継ならびにファミリー・ガバナンスの実践的理解を深めることに重点を置く。前期に学んだ理論を用いて現実の事例を分析し，解決策を提示できる能力の構築を目標とする。
参考図書	後藤 俊夫『三代，100年潰れない会社のルール』（プレジデント社，2009年） ISBN:978-4-83-341913-0 1,714円+税
履修上のポイント	下記の諸点に関して，理論を適用して現実の課題解決ができる応用力を構築する 1 事業承継プロセスの診断(問題点の抽出) 2 局所療法のための処方箋(解決策)の提示 3 根本的治療のための方策の提示 4 問題を未然処理するためのシステム(ファミリー・ガバナンスなど)構築
レポート課題 1	教材または参考図書(前期・後期)から「事業承継」に関する事例を一つ選び，前期に学んだ理論を用いて分析し，解決策を提示せよ。 留意点 ：レポートの構成及び評価点配分（下記）に留意すること。 用いる理論名と理論の概要（15点），事例の概要（15点），分析（30点），解決策（40点）
レポート課題 2	教材または参考図書(前期・後期)から「ファミリー・ガバナンス」に関する事例を一つ選び，前期に学んだ理論を用いて分析し，解決策を提示せよ。 留意点 ：レポートの構成及び評価点配分（下記）に留意すること。 用いる理論名と理論の概要（15点），事例の概要（15点），分析（30点），解決策（40点）